



Title	<書評>谷内六郎&モーツアルト : 愛とやすらぎの協奏 (普及版, 新潮VIDEO, 3800円)
Author(s)	田中, 美代子
Citation	大阪公衆衛生. 1992, 61, p. 23-23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83882
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『谷内六郎&モーツァルト』

—愛とやすらぎの協奏—普及版

新潮VIDEO (3800円)

小学生のころ、学校までは、田の畦道や池の端、電車の踏切、小川にそった道と変化に富んだ道中であった。田んぼでレンゲを摘んだり、畦道の雑草や花々に挨拶を送り、小川のせせらぎで手を洗い、線路に耳をつけ、電車の走りゆく音をききながらの学校への道は、15分もかからないほどの距離を30分も40分も要したものです。

そんな生活体験故か、谷内六郎・山下清・原田泰治、外国では、イワン・ラツコビッチやグランマア・モーゼスおばさん等の、のどかな牧歌的で素朴な絵が大好きです。なかでも谷内六郎氏の絵は“週間新潮”の表紙絵として、ごく身近な親しみを感じていました。

その絵がビデオになり、その上、モーツァルトの美しい曲と一緒に自分の見たい時に自由にじっくりと、時間をかけて思いのままに絵と音楽の世界に浸れます。ピアノ、ヴァイオリン、パン笛の各々の奏でるモーツァルトの清らかな調べと共に紹介される六郎の絵は、人と動物、植物が違和感なく一体となって、自然の全ての物を愛する心が1つ1つの絵から生き生きと伝わって来るようです。

年々、時間の経過があわただしく感じられる日々を過ごしている中、心身共にリラックスできる時間をこの一本のビデオにより得ることができます。目を閉じると、優しいモーツァルトの調べだけを、また、音を小さくすると絵だけの鑑賞にと、三種三様の鑑賞の仕方が楽しめます。まさに「名曲絵本」であります。

(堺市環境保健局衛生部 田中 美代子)